



大滝則忠會長

先生は記念館で
実地に我妻先生旧
蔵文書類の整理に
当たられました。

数々の先達の熱意がバトンタッチされて、我妻榮記念館の牛久みが重ねられてることは極めて貴重です。そして今後、どうあるべきか。昨年度から、米沢市当局と米沢有為会が同じテーマ

大滝

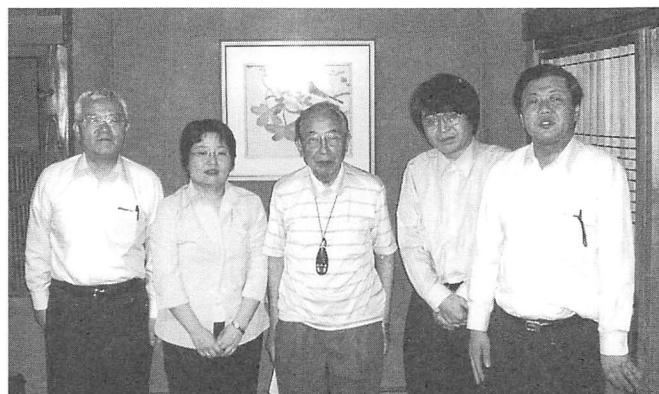
大滙則中

唄孝一先生と 我妻榮記念館のことなど

公益社団法人米沢有為会会長
前国立国会図書館長

ブルに着いて、我妻榮記念館将来計画検討委員会が始まっており、可能な限り今後を見通すべく、取り組んでいます。本誌読者の皆様からも、ご意見等をお寄せいただきたくお願いします。

先達の中では、私がここに記録するは、唄孝一(ばい



資料整理協力チーム、右から藤巻、高橋、唄先生、小澤の各氏と筆者
(平成16年6月27日)

籍・文書類は、昭和48年没後、東京大学（法学部と東洋文化研究所）、山形県立図書館、そして我妻榮記念館の順で分散継承されました（唄孝一「我妻榮先生の文書・記念館のことなど」、平成15）。唄先生は、我妻先生の生前から一部史料整理に關係、先生没後直ぐに、長男洋先生からの電話要請で、旧蔵文書類の整理に関わり始めた

氏と共に、首にタオルを巻いた作業姿。当時、この唄先生はじめ4氏が記念館の資料整理協力チームの構成でした。その夕の米沢牛の一席、翌日の蕎麦屋での昼食と、先生を囲む歓談の風景が忘れられません。先生は近くのビジネスホテルに連泊で、記念館の仕事を続けら

故こうなつたか：我妻先生のお使いになつた資料やお書きになつたものに触つたり偲んだりすることは言うまでもありませんが：仕事をしておるということも忘れて：米沢の中に溶け込むような気持ちでおります」（『米沢有為会々会誌』、平成16）と話されるなど、唄先生のお人柄が実に良く窺えます。

「資料縁」について書き残して
います。我妻榮先生の生誕百年
記念講演会で、同じく講師をつ
とめた次男堯先生の「血縁」、
遠藤浩先生の「地縁」に対し、
あえて「学縁」と言わず「資料
縁」と自称しています。平成16
年6月講演の冒頭で「私は米沢
に何回も参っておりますが、今

我妻 案記念館

第 24 号

発行日／2019年12月18日
発行／公益社団法人米沢有為会
我妻榮記念館
〒992-0045
米沢市中央3-4-38
TEL・FAX 0238-24-2211

出てこられて迎えてくれました。暑い日で、弟子のお三方、小澤直子・藤巻和広（東京から）高橋良彰（山形大学）の各



唄孝一先生
(明治大学ELMホームページ
から)

（1Pよりつづけ）

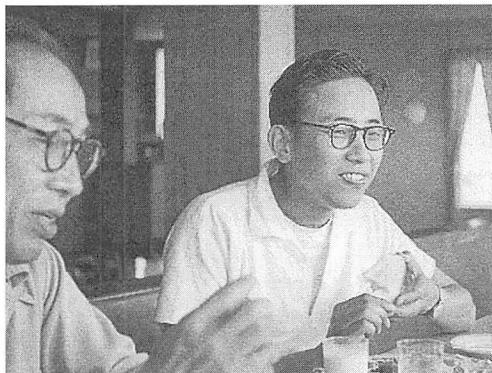
令和元年12月18日発行 ————— 我妻榮記念館だより

平林勝政兄（後に國學院大學法科大学院長・医事法）が、私と東京教育大学の同級生という縁からです。昭和50年4月から2年間の国立国会図書館派遣のコロンビア大学（ニューヨーク）東アジア図書館から復帰直後には、唄先生が弟子の皆さんと共に帰國歓迎昼食会を催してくれました。唄先生は昭和51年秋、法律専門ジャーリスト誌に、「死ぬ権利」「安楽死事件」の先駆けとして世界的に注目された「カレン事件」の州裁判所判決を取り上げました。日本国内では判決文を入手できなかつたため、私が現地で調査して郵送し、論文末に一本稿の資料については：在米中の友人大滝則忠氏から多大な協力を得た」と特記いただいたことは、弟子の同級生を「友人」と呼んでいたく光栄と共に、図書館人冥利に尽きることでした。



鳴先生の蔵書印

き先生でした。我妻先生旧蔵の現室籍・文書類が分散された現室接した経験に基づく想いかから、お人柄に直接接した小西先生の孫弟の「学縁」、先生という推進力があり、咽生逝去の前後、明治大学法学院の一室に「ELM（エルム）・医・倫理の資料館」の開設準備されました。「ELMは医事法学を一つの学問分野として確立した唄孝一先生が生前集された医事法学・生命倫理学に関する様々なアーカイブ（書籍、公文書等）が基礎資料と案内にあります。ELMは唄先生の理念を継承し、広く学内外に公開されており、「法律研究者のみならず、医学界・法曹実務界との連携を含めて、医療・生命倫理に関する領域の総合研究機関としてわが国の医事法学研究の拠点となることをめざして、諸活動を展開する（ELM館長・村上一博明治大学法学部長）とされ、まさに唄先生が最も望んだだらう形が実現されています。明治大学の取組みに心からの敬意を表する次



我妻先生(左)とご一緒に若き日の唄先生

**多くの方々より
ご寄贈いただき**

昨年度から今年度にかけて、多くの方々よりいろいろなものをご寄贈いただきましたので、ここに紹介し御礼申し上げます。

* 平成31年2月 書籍
担保物権法他12冊

市内堀川町・栗原珠美様

* 令和元年9月 書籍
改正民法余話 東京都・滝澤美恵子様

* 令和元年9月 座机6脚
市内通町・伊藤浩様

* 令和元年10月 本棚
市内川井（株）マルコーエンジニアリング社長
手塚孝一様

* 令和元年11月 故園藤重光東大名誉教授の東大生時代のノートの写し
【妻栄教授・民法二部】
龍谷大学（京都）

栗原様からご寄贈いただき
ました書籍は、元裁判官であ
られたお父上様がお使いにな

いろいろなものを
よした
られたもので、我妻榮先生の
著作13点です。
また、滝澤様からご寄贈い
ただきました「改正民法余話」
は、榮先生の直筆入りで大変
貴重な一冊となつております。
伊藤様、手塚様からはそれぞ
れ座机、本棚をご寄贈いただ
きました。

手塚様からの本棚につきま
しては、重機を使って二階の
勉強部屋まで搬入するところ
までやつていただきました。

龍谷大学からの團藤名譽教
授のノートの写しは、團藤教
授が東大生のころの我妻榮先
生の講義の内容であり、我妻
先生がどのように講義を行つ
ていたかを知るうえで大変貴
重なものです。

まことにありがたく、感謝
申し上げますとともに大切に
保管管理し、ご来館の方々に
ご覧いただけるように展示を行つてまいります。本当にあ
りがとうございました。



矢尾板館長(右)より上村小学校校長会長へ贈呈

私が、興譲小学校に入学し小学校四年生の時、我妻榮先生にご来校いたしました。壇上に立たれた先生は、お優しいおじいさんという感じで、今でもお話をされていたお姿を覚えていました。そして、その日『まがき文庫』が創設されました。(第22号)掲載・神保委員執筆)以来、我妻榮先生のお名前は、

文庫の存在とともに興譲小学校児童（卒業生）の脳裏に深く刻まれ続けています。私が高学年の頃には、二番目の図書館ができたということで、多くの級友たちがこぞつてまがき文庫の部屋に行き、本をお借りした記憶があります。その読書のおかげでより一層文学や日本語に親しむようになつたのではないかと

思
い
ま
す

興譲小学校では、毎年六年生の児童が我妻榮記念館をお訪ねし、館長さんや運営委員の方々より先生の業績やエピソードをお伺いし、学習しています。しかし、五年生以下の児童は先生のご実績にふれる学習環境がなかなかない状況でした。

今年、我妻榮先生のエピソードを紹介する小冊子『故郷を愛した民法学者 我妻榮先生』を市内

その中でも特に「赤井雲次郎先生との出会い」のエピソードや「無銭旅行」のエピソードなどあげた児童が多かったです。先生の中小学生の時代のことを想像して、自分たちの学校生活や日常生活を比べるなどして心に残つたようです。

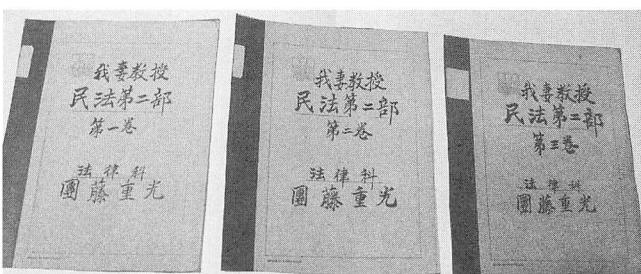
これからも心に残る一冊として児童たちに大切にしていくつもらいたいです。そして、我妻先生の後輩として、それぞれのエピソードから学んだことをこれから的人生に活かしていくつももらいたいと思いました。

令和元年度の主な出来事・行事など

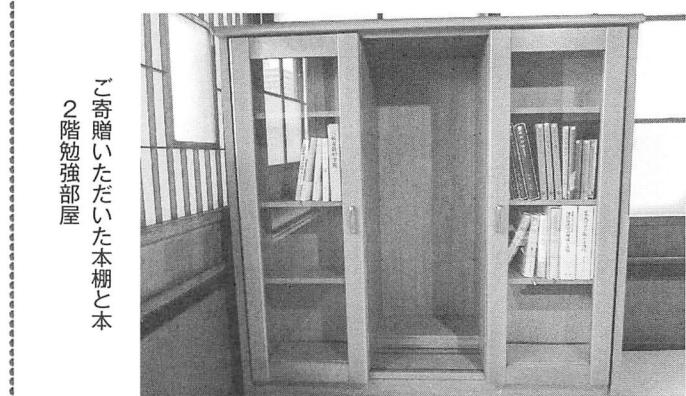
年度	年月日	翻	出来事行事など	摘要
平成30年度	平成31年2月3日	日	担保物件法（民法講義Ⅲ） 岩波書店他12冊受贈	米沢市堀川町 栗原珠美様
平成31年	4月30日	火	鈴木安蔵記念館設立のため の調査団来館	吉原泰助元福島大学 学長、金子勝立正大學 名譽教授等5名
令和元年	6月16日	日	自頬契財団団契学生証書交付式・清掃奉仕・館長講話	父兄とも28名
令和元年	8月19日	月	團藤文庫研究プロジェクトメ ンバー視察（京都龍谷大学）	プロジェクトメンバー 12名 記念館・有為会4名
令和元年	9月2日	月	我妻栄著「改正民法余話 新しい家の倫理」受贈	滝澤美恵子様 (東京都豊島区)
令和元年	9月11日	水	副読本配布セレモニー： 関根小学校	5年生5名
令和元年	9月12日	木	副読本配布セレモニー： 小学校校長会	5年生723名
令和元年	9月21日	土	座卓（6脚）受贈	通町七丁目 伊藤浩様
令和元年	10月1日	火	副読本配布セレモニー： 関小学校	5年生2名
令和元年	10月1日	火	本棚受贈	マルコエンジニアリング 手塚孝一様
令和元年	10月20日	日	新社会党東日本平和運動交 流集会	40名
令和元年	11月15日	金	團藤重光氏（東大名譽教授） の大学時代のノート⑩受贈	龍谷大学 福島至教授
令和元年	11月25日	月	松岬受賞者会で講演	「我妻栄先生につい て」37名
令和元年	12月7日-8日		大原簿記学校生徒に対する 講演（県南自動車学校にて）	154名

我妻榮記念館運営委員
興讓小学校教頭

我妻榮先生の小冊子をいただきました



故團藤重光東大名誉教授のノートの写し



ご寄贈いただいた本棚と本
2階勉強部屋

* 法曹になる予定はあります
東京地裁T・T他5名
んが、社会人として人間とし
て共通の大切なことが学べた
と思います。ありがとうございます。
いました。
K・O

K
•
O

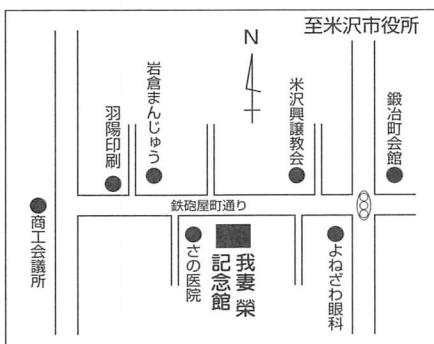
つた。

Y
•
K

入館者

	施設利用者
平成4年度	312名
平成6年度	635名
平成9年度	791名
平成14年度	172名
平成16年度	423名
平成18年度	434名
平成19年度	393名
平成20年度	425名
平成21年度	440名
平成22年度	360名
平成23年度	232名
平成24年度	486名
平成25年度	484名
平成26年度	480名
平成27年度	243名
平成28年度	463名
平成29年度	444名
平成30年度	488名
平成5年度	560名
平成7年度	543名
平成11年度	492名
平成15年度	333名
平成17年度	465名

(平成27年度、5月15日から9月30日まで劣化改修工事のため閉館)



〒992-0045 米沢市中央3-4-38
TEL・FAX0238-24-2211

我妻榮記念館 検索

入館 午後 開館 曜日 日曜

日曜日、月曜日、木曜日、金曜日を開館日とします。

名譽館長 間顧館

手山神佐柿高安本矢上我
塚田保藤崎橋部多板村妻
隆 悅 節 和 勘
正弘厚繁子子敏彦操二堯

記念館のスタッフ